

地域課題の解決に資する適応策の検討

(テーマに即したタイトル)

例: 地域適応計画策定に向けたワークショップ
まちづくりとの関係を考える

注: 本資料は、東北広域協議会が2025年1月に青森県で実施した
ワークショップ資料を一部改変して作成したものです

地域適応計画策定に向けたワークショップ ～まちづくりとの関係を考える～

■ WSのプログラム

時間	発表テーマ／発表者
10:30	開会挨拶 ○○市
10:35	基調講演「気候変動時代に活性化する地域を目指して」 ○○○○
11:05	「地域循環共生圏の創造について」 ○○地方環境事務所
11:35	質疑応答
11:45	「○○地域における広域アクションプランの概要」 ○○地方環境事務所
12:00	昼食休憩
13:00	ワークショップ 「地域を守る・盛り上げる適応アクション プロジェクトを企画しよう！」
14:25	ワークショップ総括
14:30	閉会挨拶 ○○○○
14:35	アンケート

地域適応計画策定に向けたワークショップ ～まちづくりとの関係を考える～

■ WSのプログラム

何をする？

地域づくりの戦略を念頭に、地域づくり、地域の課題解決と気候変動適応アクションとを同時に実行する（地域づくりに適応策を組み込む）ためのプロジェクトを企画する

目的

- ・ 現在・将来の地域づくり、地域の課題解決に気候変動影響への適応策の取組をどのように活かすことができるか、ワークショップを通じて考え、体感する
- ・ 地域適応計画の策定のための足がかりとする

地域適応計画策定に向けたワークショップ ～まちづくりとの関係を考える～

■ WSのプログラム詳細

時間	発表テーマ／発表者
13:00	全体説明
13:03	グループに分かれて役割決め、自己紹介、地域課題の整理
13:08	ワーク① 地域資源を考えよう
13:13	ワーク② 地域課題を選び、目標を考えよう
13:18	ワーク③ 地域課題の解決策を考えよう（個人作業）
13:28	ワーク④ 地域課題の解決策を出し合おう
13:38	ワーク⑤ 適応策との結びつきを検討しよう
13:43	ワーク⑥ 適応アクションプロジェクトの企画案を作成しよう
14:13	グループ発表
14:25	ワークショップ総括

自己紹介（5分）

- 1分程度で自己紹介（お名前、ご所属）と、ご自身の考える〇〇地域の地域課題をお話しください。
- 話しながら、地域課題を書いた付箋を模造紙に貼ってください。
その際、近い内容のものは近くに貼るようにしてください。
- 次の役割を決めてください。
 - グループで出た意見を発表する「発表者」

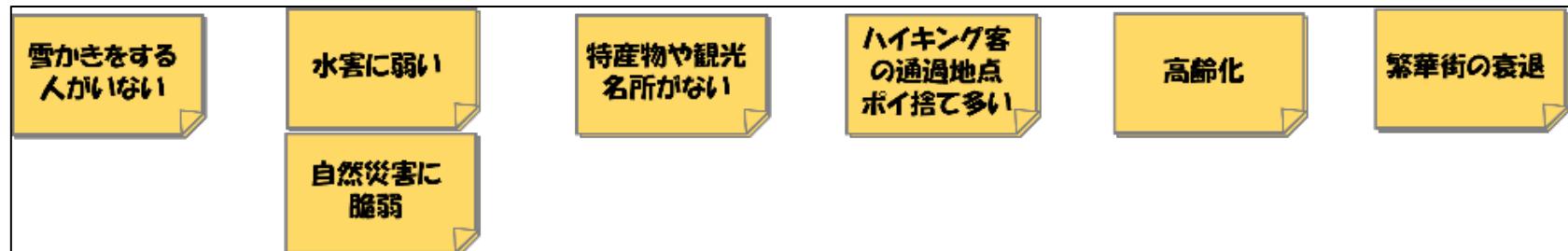


図.作業例

ワーク①地域資源を考えよう（5分）

- 各自、〇〇地域の地域資源として思いつくものを発表してください。
- 発表された地域資源は、グループファシリテーターがオレンジ色の付箋に書きだし、模造紙に貼ります。

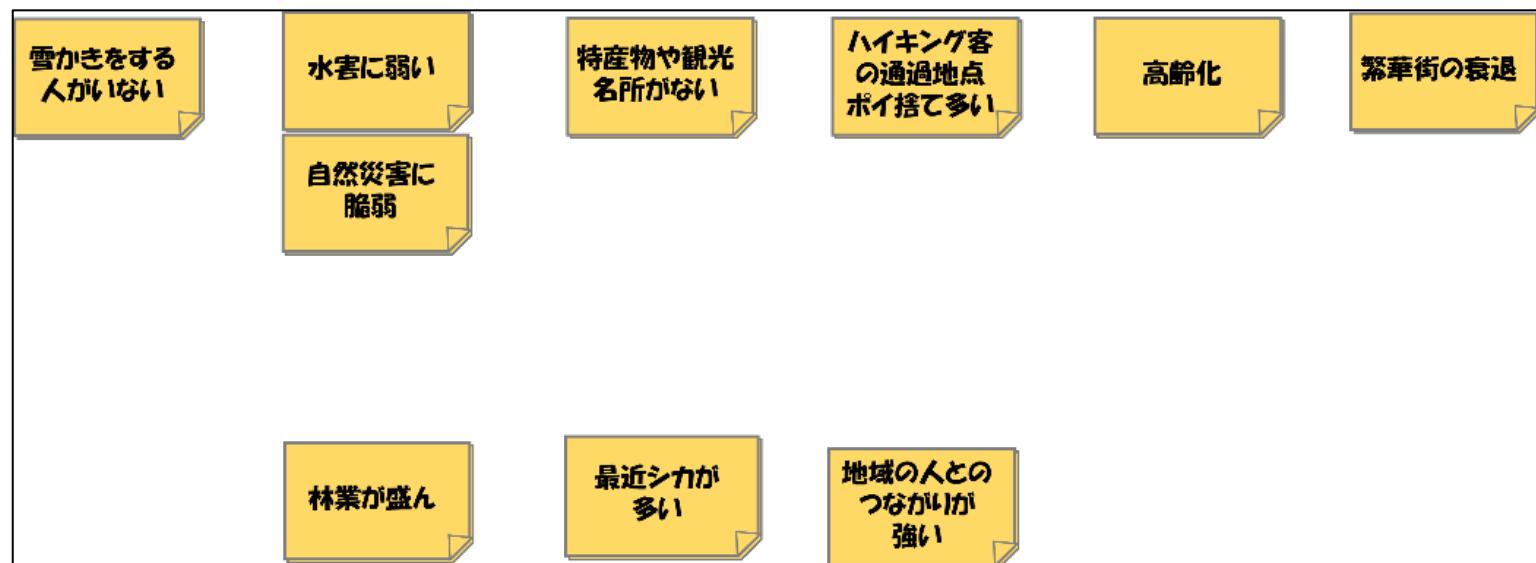


図.作業例

ワーク②地域課題を選び、目標を考えよう (5分)

- ・ 地域の特色が良く出ている地域課題を選んで、企画書の「解決したい地域課題」に貼ってください。
- ・ その課題に対する目標を考え、オレンジ色の付箋に書き出し、企画書の「地域課題解決の目標」の欄に貼ってください。

企画書			
プロジェクト名			
解決したい地域課題			
地域課題解決の目標			
何をする？	誰に？	誰が？	使える地域資源
			その他コベネフィット

ワーク③地域課題の解決策を考えよう (個人作業) (10分)

- 各自、地域資源を用いて、選んだ地域課題の解決策を思いつくだけ青い付箋に書きだしてください。
- 付箋1枚に1つの解決策
- 基調講演、話題提供、適応オプションリストも参考に

適応オプションリスト

何をするか
(この項目を付箋に)

地域づくりに
どう貢献するか

誰が

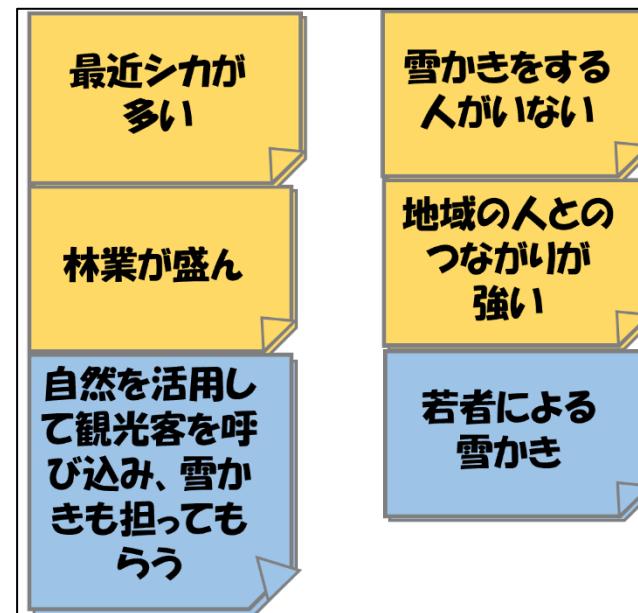
考えられる
デメリット

考えられる
他のメリット

分野	項目	適応アクション	地域づくり型としての適応アクション分類	実施主体	概要	トレードオフ	コベネフィット
自然災害 沿岸域	沿岸 (高潮・高波)	安全な場所への移転	災害対策を通じた住みやすいまちづくり	行政 事業者 個人	<ul style="list-style-type: none">国や自治体において、危険な区域における居住や開発を抑制し、安全な場所への移転を促進する(土地利用の規制・誘導)。各世帯において、転居や都市構造の転換のタイミングなどに合わせて、ハザードマップ等で確認して安全な場所に移転する。	現在の居住地の利便性や経済機会を損失する	コンパクトシティにもつながる

ワーク④地域課題の解決策を出し合おう (10分)

- ワーク③で出した解決策を簡単に説明しながら、かかわりの深い地域資源に連なるように付箋を貼ってください。



ワーク⑤ 適応策との結びつきを検討しよう (5分)

- ④で出した解決策のうち、適応にもなるような解決策をピックアップしてください。
- ここでピックアップした解決策が、『適応アクションプロジェクト』となり、ワーク⑥でプロジェクトの企画案を作成します。
- 統合できる適応アクションがあれば統合しても構いません。

ワーク⑥ 適応アクションプロジェクトの企画案を作成しよう-1 (25分)

- 選定した適応アクションを「何をする？」に貼ってください。
- 関連する地域資源を「使える地域資源」に貼ってください。
- 関連する地域課題があれば「解決したい地域課題」に貼ってください。
- 残り時間で、グループで話し合い、企画書を完成させてください。

企画書

プロジェクト名	解決したい地域課題	地域課題解決の目標
何をする？	観光客が少なくなっている	適応の目標
誰に？	誰が？	使える地域資源
夏の観光客 誘致		避暑地である
		その他コベネフィット

ワーク⑥ 適応アクションプロジェクトの企画案を作成しよう-1 (25分)

- 付箋の色は

黄色 : 地域活性化

地域社会・経済の活発化

緑 : 環境保全

気候変動緩和、その他の環境対策

ピンク : 社会的包摶

格差是正、弱者の支援

- 適応アクションのコベネフィットを考える際のポイント

- まちづくりや、地域の課題の解決に役立てることはできないか？
- それを達成するために何をすればよいか？
- だれを巻き込むか？
- さらなるコベネフィットはあるか？

コベネフィット :

取組により、副次的・間接的に相乗的な便益を生み出すこと
例) 森林保全が生物多様性保全と温室効果ガス削減に繋がった。

ワーク⑥ 適応アクションプロジェクトの企画案を作成しよう-2 (5分)

- 発表に向けてまとめ、確認をしてください。
 - 適応に関する付箋に赤丸をマーク
 - 具体的な企画になっているか
 - 企画の売りや特徴は何か 等

企画書		解決したい地域課題	地域課題解決の目標
プロジェクト名 ○○町のファン 激増プロジェクト		観光客が少な くなっている	年間観光客 ○○人
何をする？ 夏の観光客 誘致	子どもの短期 留学		適応の目標 避暑地として訪問し てもらい熱中症 患者減
親はテレワーク			
避暑	グリーンツーリズムや自然を活か した遊び		
誰に？	観光客 子ども	県内外 子育て世代の 親	△△局□□ 課 観光協会
			ホテル・旅館 婦人会
誰が？			
使える地域資源			避暑地である
			その他コベネフィット
			婦人会活性化 グリーンツーリズムを通じた 環境保全・災 害対策
			地域の子ども の遊び相手も できる

黄色：地域活性化

緑：環境保全

ピンク：社会的包摂

グループ発表（3分ずつ）

- 各グループ3分で、適応アクションプロジェクトの素案を発表してください。

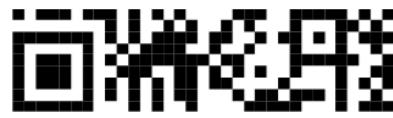
総括(5分)

閉会挨拶(5分)

本日は、ご参加、誠にありがとうございました。
下記QRコードを読み取り、アンケートにご協力ください。



サンプル



紙のアンケートも用意しておりますので、
必要でしたら係の者にお尋ねください。